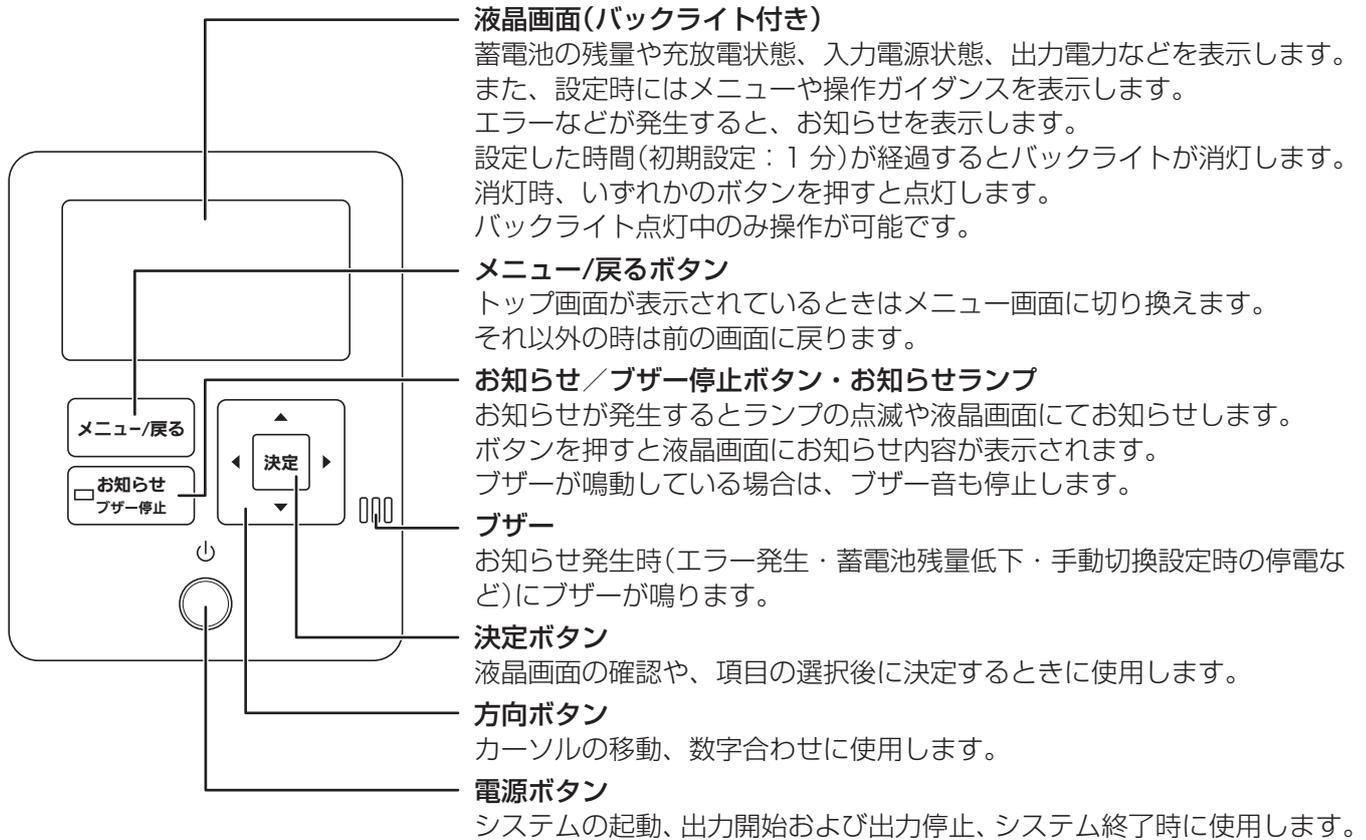


画面操作部



現在日時

設定は27ページをご参照ください。

モード

・タイマー/蓄電(20,21ページ参照)
・外部制御(5ページ参照)

ネットワーク接続状態

品	点灯	接続状態
品	点滅	DHCPアドレス取得中
品	点滅	IPアドレス重複発生(31ページ参照)
表示なし		接続なし、DHCPアドレス未取得

12/31 23:45

タイマー

入力電源

AC100V

出力 バイパス

0.5kW

蓄電池 充電中

0.6kW

残量 50%

お知らせ状態

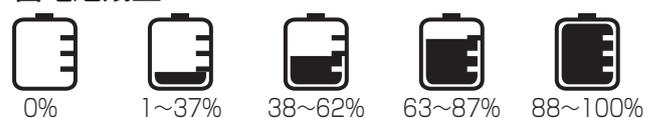
お知らせブザー停止 を押すと発生内容が表示されます。(11ページ参照)

蓄電池状態

- ・充電中：AC入力から蓄電池に充電中
- ・放電中：蓄電池から放電して出力中
- ・待機中：充放電可能だが、していない
- ・停止中：充放電を停止中

蓄電池充放電電力

蓄電池残量



入力電源状態

- ・ AC100V：AC入力あり
- ・ 停電：AC入力なし

出力状態

- ・バイパス：AC入力からの電力を出力可能
- ・放電：蓄電池からの電力を出力可能
- ・停止中：出力不可

出力電力

※蓄電池放電中の電力と値が異なる場合があります。

蓄電池 放電中

0.5kW

残量 50%

使用可能時間
3時間14分

停電時の使用時間表示

停電時に、蓄電池の放電によって現時点で使っている電気機器をそのまま使い続けた場合の使用時間の目安を表示します。使用電力量が変われば変化します。

●表示される数値は常に変化(変動)するため、本機の状態を確認する目安としてください。

停電時の動作

停電時出力切換設定(28 ページ参照)を「手動切換」に設定することで、停電時に接続機器の状況を確認し、安全であることを確認してから、電力を供給することができます。下記は停電時の手動切換操作手順です。

停電時出力切換設定を「自動切換」に設定していれば、下記の操作をせずに自動で電力が供給されます。

※停電時は、自動で充電／放電が切り換わるとき約 5 秒間供給を停止します。

停電から復旧したときは、停電時出力切換設定が「自動切換」／「手動切換」に関わらず、自動で平常時の動作に戻ります。

■停電時の操作手順

例)蓄電モード

1. 停電が発生すると、ブザーが鳴り、「停電時出力切換」画面が表示されるので、 で「はい」を選択し を押す

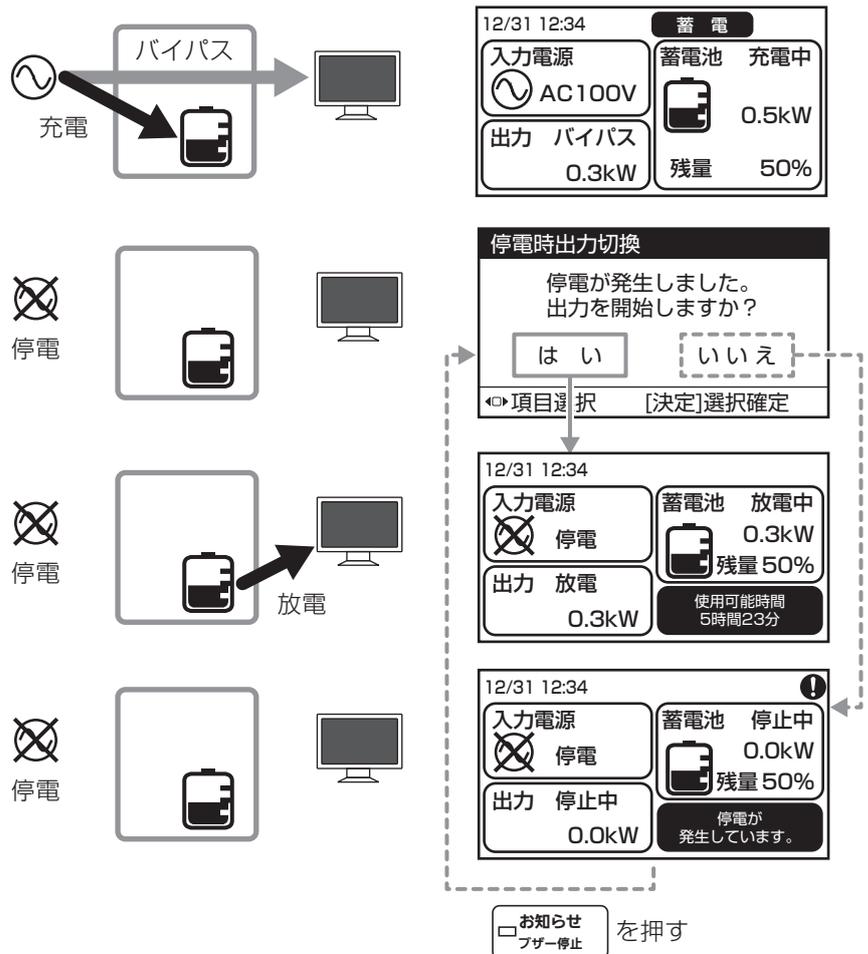
ご注意

- 操作がなければブザー音は 1 分後停止します。お知らせランプの点滅は続きます。(11 ページ参照)

2. 蓄電池の放電による電力が供給されていることを確認する

※「いいえ」を選択したときは放電待機状態となり、お知らせが表示されます。

を押すと、「停電時出力切換」画面になります。



■停電復旧時のご注意

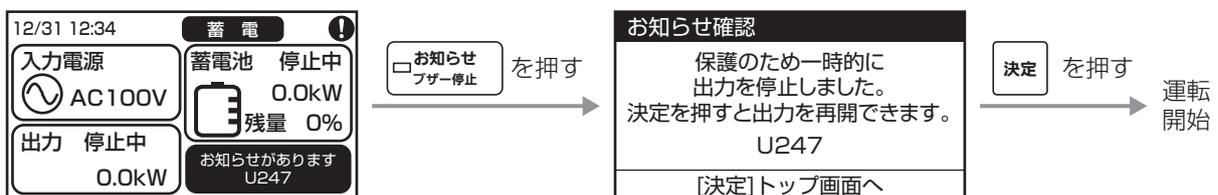
停電時に放電による給電で蓄電池残量が 0%になり、数時間経つと、過放電を防止するために自動でシステムの動作を終了します。

停電から復旧したときは、必ず液晶画面を確認してください。液晶画面が表示されていない場合は、システムの動作が終了してしまっていますので、電源ボタンを 3 秒以上長押しして、再度システムを起動してください。

起動時に液晶画面にお知らせ(U247)が表示されます。

下記の手順でお知らせ内容を確認の上、運転を再開させてください。

充電ができる状態になっていなければ、再度システムの動作は終了します。



太陽光パワーコンディショナの自立出力からの充電について

本機は、系統電源から充電を行うことを前提に設計されていますが、非常時(停電時)に太陽光発電の自立出力からの充電が必要になった場合には、以下に注意してご使用ください。

■充電ができる条件

- 本機の充電には 650 W以上の電力が必要なため、太陽光パワーコンディショナの自立出力(AC100 V)から本機に、650 W以上の安定した電力を供給できることが必要です。
- 本機と接続可能な場所に自立出力用のコンセント(AC100 V接地極付)を備えていることが必要です。

■充電の方法

1. 本機に負荷機器がつながっていない状態にする
 - ①本機の出カコンセントに接続されている機器との接続をすべて外す
 - ②電気工事によって本機の出カに直接接続されている機器がある場合は、それらの接続機器の電源をすべてOFFにする
2. 太陽光パワーコンディショナの自立出力コンセント(AC100 V)につながっている機器をすべて外す
3. 本機のAC入力プラグを太陽光パワーコンディショナの自立出力コンセント(AC100 V接地極付)に接続する
4. 26 ページ「2.1.2.運転モード設定」に従って、本機を蓄電モードに設定し、充電を行う

■注意事項

- 太陽光パワーコンディショナの自立出力は、天候の変化などによって不安定になります。自立出力が本機の充電に必要な電力の 650 W以上ある場合は、本機への充電が行われますが、650 Wを下回った場合は、太陽光パワーコンディショナが過負荷(出力が足りない状態)を検出して停止することがあります。そのため、本機に負荷機器がつながっていない状態にしてください。
- 太陽光パワーコンディショナが停止した場合は本機への充電を取りやめ、天候の回復を待つて充電再開を試みてください。
- 太陽光パワーコンディショナの自立出力が 650 W未満であるにもかかわらず、本機への充電を継続した場合は、機種により太陽光パワーコンディショナが自動復帰と停止を繰り返すことがあります。上記のように太陽光パワーコンディショナが自動復帰と停止を繰り返す状態になった場合には、本機は、蓄電システムの保護のため自動的に停止することがあります。運転が停止したときは、お知らせ内容を確認状態で、自立出力が 650 W以上になるのをお待ちください。自立出力が 650 W以上になってから、**決定** を押すと運転を再開し、充電を開始します。
- 太陽光パワーコンディショナの機種によっては、自立出力が 650 W以上でもノイズの影響などで充電が正常に行われない可能性があります。全てのパワーコンディショナについて本機の動作を保証するものではありません。
- 設置地域を移動させて充電する場合は、太陽光パワーコンディショナと本機の出カ周波数を合わせてご使用ください。(6 ページ「出カ周波数について」、28 ページ「2.2.2.出カ周波数確認」参照)